



小郡市立立石中学校

令和5年 3月10日

立石中学校だより

たっちゅう 第41号

校長 山村 栄揮



学校教育目標 ～ 夢を持ち 未来に向かう、心豊かで たくましい生徒の育成 ～

巣立っていく皆さんへ【卒業 おめでとうございます】



二十四名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

二年間という期間でしたが、私は、皆さんに出会え、一緒に過ごすことができたことを本当にうれしく思うとともに、義務教育九年間の総まとめにふさわしい生徒に成長してくれたことを誇りに思います。

振り返ってみますと、この三年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な制限下での学校生活を余儀なくされました。多くの不安やストレスがあったことだと思います。

新型コロナウイルスは、現在、若干の落ち着きを見せているものの、まだまだ、余談を許さない状況が続いております。しかし、経済活動の再開の動きも相まって、少しずつ制限も緩和されつつあります。早く、何の制限もない、以前の日常が戻って来てくれることを願って止みません。

さて、アメリカでは、卒業式のことをコメンメントと言い、「新しい生活の始まり」という言葉で使われているそうです。今日は、これから始まる新生活への希望や期待の意味をこめてお話をしたいと思います。

今年も、高校入試を控えた皆さんと校長室で面接練習を行い、将来の夢や進路について話をしました。「福祉関係の仕事がしたい」「動物に関係する仕事に携わりたい」「パティシエになりたい」など、一人ひとりが将来の夢を自分の言葉で嬉しそうに語ってくれました。昔から日本には「言霊」という言葉があります。言霊とは、言葉が持つ不思議な力を指す言葉です。「人が発した言葉には、魂が込められている」との考えから生じたもので、発せられた言葉はその意味通りの結果をもたらすとされています。皆さんの夢の実現のため、これからも夢や目標など、ポジティブな言葉をたくさん口にして言ってみてはいかがでしょうか。

そんなこれから未来に羽ばたく皆さんに、二つのことをお伝えしたいと思います。

一つ目は、「おもしろきこともなき世を、おもしろく、すみなすものは、心なりけり」という歌の意味についてです。この歌は、二十七歳という短い生涯ながら数多くの業績を残し、明治維新の立役者となった高杉晋作が作った上の句に、幕末の女流歌人、「野村もとに」という人が下の句をつけたものです。「面白いことなど何もない世の中を、面白く暮らしていくことができるのは、心の持ち方一つである。」という意味を表しています。心の持ち方一つで、人生は面白くも楽しくもなるという考え方です。くよくよしたり、やらない理由やできない理由を考えたりするのではなく、自分の人生を素晴らしいものにするために、「自分に何ができるのか、どうすれば実現することができるのか」といった考え方の転換が大切だということをお伝えしています。

二つ目は、学び続ける人になってほしいということです。本当に大事なことは、試験や受験の先にこそあるということを、皆さんには知ってほしいと思います。「学ぶ」ということは、教科書に書かれたことをただ覚えるということではなく、「そのことはどういうことなのか？」

「本当の意味は何だろうか？」ということをお自分なりに問い続けることだと思います。自分自身で一生懸命考えることで、物事が持つ、本当のことがわかり、心からの実感を持って納得することができるのです。

根拠のない偏見や思い込みは、私たちの目を曇らせます。様々な情報が氾濫する現代、私たちは、確かな「学び」のもとに、何が正しくて、何が誤りなのかを見極め、偏見や思い込みから自由になることが必要です。

私たちは、深く学ぶことで、身の回りの世界や文化の真実を知ることができます。それはとりもなおさず、自分自身を知ることにも繋がります。

世界を見渡すと、いまだに悲惨な民族紛争や戦争が繰り返され、様々な事件や差別的現象が起きています。二十一世紀は皆さんの手で、全人類が幸せに暮らせる時代にしてほしいと強く願います。

立石中での皆さんの足跡【追想】

卒業生の足跡は大きいものがありました。成長できた3年間だったと思います。振り返れば…。新型コロナウイルスの影響で、当初の予定を変更して班別散策を取り止め、バスによる見学に変更して実施した修学旅行。生徒会・実行委員会の初仕事で、学年の団結の一步にすることができました。そして、3年生になり、生徒会スローガン『完全燃焼』～咲き誇れ！84色の笑顔～のもと、取り組んだ体育大会。学校行事を通しての皆さんの成長は目覚ましいものがありました。



思い出の修学旅行

昨年度は、緊急事態宣言が延長され無観客での開催となりましたが、本年度はなんとか地域や保護者の皆さまをお招きして開催することができました。生徒の皆さんの素晴らしい団結力と集中力でリーダーを中心に、協力しあって見事な体育大会をつくりあげてくれました。夏休み終わりからリーダーの皆さんが自分たちでブロック演舞の振り付けを創りあげました。短い練習と準備時間にも関わらず、よく工夫された楽しいダンスを創り上げてくれました。



笑顔あふれる体育大会



当日は、アンコールの声が高まり、予定していなかった全校生徒によるダンスを披露することができました。大変感動しました。全校生徒が一丸となって、渾身の演技を披露する姿は青春そのものであり、体育大会を通じて流した汗と笑顔は皆の財産になり、仲間との感動を共有した瞬間でした。



心がひとつになった文化発表会



「感孚風動」～輝け！84人の魂～のもと開催した文化発表会。例年通りご来賓や地域の方々にもお出でいただき開催することができました。学年合唱も復活し、ひとつひとつのことが丁寧に取り組まれ、ステージの部も展示の部も皆さんのがんばりと協力で、全員がスローガンを意識した素晴らしい文化発表会となりました。

感染対策を講じながらの取り組みとなりましたが、心をひとつにして取り組んだ二大行事では仲間との絆づくりの喜びを実感したことでしょう。また、これらは、一人ひとりに力がつき、その力をまとめあげた、まさに集団の高まり、学校の一体感の高まりを示した瞬間でした。すべては、卒業生の皆さんの先導なくしては得られない成果であり、必ずやこれらの姿は下級生への無言の教訓となり、しっかりと受け継がれるものと確信します。現在の学校の土台を強固にしてくれた学年であったと心から感謝しています。本当にありがとうございます。

卒業生の保護者の皆さんへ

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。今日の立派に成長した姿は、保護者の皆様が、お子様の声に耳を傾け、あたたかな目差しで見守り続けていただいたおかげであります。

今日までのご労苦に敬意を表しますとともに、お子様のこれからの成長を心よりご祈念申し上げます。

また、本校の教育に対しまして、多大なご理解とご協力を寄せていただきましたことに、深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

